

## 平成30年度 第2回 基幹相談支援センター運営委員会 概要

日 時：平成31年2月12日（火）、13:30～15:00

場 所：札幌市役所 本庁舎12階 2号会議室

出席者：11名 運営委員：北川委員、大下委員、中田委員、

渡邊氏（重泉委員代理）山田氏（杉田委員代理）

（事務局：障がい福祉課1名、ワン・オール5名）

### 次第

- 1 平成30年度の事業中間報告（4月～12月分）について、ワン・オールから報告と質疑応答
- 2 ワン・オールの中立性、運営に関する各委員からの意見

### 扱われた内容（平成30年度事業計画に準じて報告）

- ・個別支援、ケースの傾向等について⇒個別支援の実績と相談の傾向について説明。
- ・相談支援事業の後方支援⇒『人材育成』とスキルアップ研修、共催研修の今年度の概要について報告
- ・「基幹相談支援センター運営業務」のあり方検討について  
⇒委託相談支援事業所への訪問調査、全国の政令指定都市にある基幹相談支援センターへのアンケート調査の  
進捗状況と今後の動きについて報告。
- ・計画相談支援の推進業務について  
⇒「計画相談 How to 研修」の状況、および受講者アンケートの結果について報告。
- ・精神障がい者地域移行支援事業ピアサポーター活用業務の進捗状況⇒地域移行の支援の経過や実際について
- ・札幌市自立支援協議会に関するワン・オールとしての業務  
⇒事務局業務および地域部会についての報告
- ・誰もが住みやすいあんしんのまちコーディネーター業務の進捗状況と今後の動きについて  
⇒9月に発生した北海道胆振東部地震後の地域の動きについて報告

等

## 運営委員からの意見

- ・ワン・オールの体制や役割を図式化し、わかりやすくすることでワン・オールの札幌市の相談支援体制の中でのあり方が明確化されるのではないか。
- ・委託相談支援事業所訪問調査、政令指定都市へのアンケート調査の結果を基に、札幌市の基幹相談支援センターおよび相談支援事業所体制のあり方を検討していけないか。
- ・札幌市の相談支援体制整備について、相談支援部会と一緒に考えていきたい。
- ・児童のサービス等利用計画を立てるための研修を企画してもらいたい。
- ・福祉関係以外の機関へのピアサポーターの理解が低い。周知を広げることで、ピア活動の幅が広がるのではないか。
- ・自立支援協議会の参加回数は、今ほど多くなくても良いのではないか。全体的にバランス良く参加していれば良いのではないか。
- ・誰もが住みやすいあんしんのまちコーディネート事業は、地域支援員と連携してくれていてありがたい。もし、事業継続がなされない場合も、地域とのつながりが切れないように、地域支援員に役割がシフトしていくような仕組みにしてもらいたい。
- ・業務内容に比して、人員や体制が整っていないのは明らかなので、必要な部分は予算要求をしていってもらいたい。
- ・軽減できる業務は軽減していても良いのではないか。

等